

避難所での感染を予防するための物資を配備

○防災施設環境整備費 299万3,000円

(概要) 避難所での感染症予防対策として、避難所において体調不良の避難者の方の専用スペースを確保するためのプライベートテント、段ボールベッドなどを購入するための費用を計上するもの。

質疑 新型コロナウイルス感染症予防対策として各避難所に配備するプライベートテント、段ボールベッド、非接触型体温計などの割り当てはどのように決めるのか。

答弁 気象警報の発表時において早期に開設する自主避難所において、直近5年間の最大避難者数を考慮して各避難所への配備数を決定する。今回の補正予算で、プライベートテントを21基、段ボールベッドを97台、非接触型体温計を37本追加購入し、上記の基準で自主避難所に配備する。



段ボールベッド

文教環境分科会

議案第37号 令和2年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

教室の消毒作業などの業務を行う学校業務支援員を配置

○新型コロナウイルス感染症予防学校運営体制支援事業費

小学校費 379万2,000円／中学校費 162万7,000円

(概要) 新型コロナウイルス感染症に伴う雇用状況の悪化を受け、緊急的に就労の場を確保するとともに、学校再開後における教員による教室の消毒作業などの業務の負担を軽減し、学びの場の安全・安心を確保するため、緊急に会計年度任用職員を雇用するための費用を計上するもの。

質疑 本事業により学校業務支援員が配置される10校と県費によりすでにスクール・サポート・スタッフが配置されている学校を除いた残り10校についても、学校業務支援員などを配置する考えはなかったのか。

答弁 現在、スクール・サポート・スタッフが配置されていない20校のうち、まず、特に業務が多いと考えられる大規模な学校10校を優先し、迅速に雇用することも考え、本事業を利用して学校業務支援員を配置する。今後、国の補助事業においてスクール・サポート・スタッフや、学習に関する支援員の配置が予定されているので、残り10校についても考えていきたい。